

# 授業科目 障害の評価と福祉機器演習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	義肢
江原 義弘、真柄 彰、坂井 一浩、阿部 薫 松本 潔、大島 康浩、熊木 裕		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○			○	
【概要・一般目標：GI0】					
障害をもった対象者によく適合した福祉機器を提案できるようになるために各種の疾患について福祉機器の処方から適合設定までの流れを総合的に修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1) 福祉機器を必要とする代表的疾患について対象者の特徴を説明できる。 2) 福祉機器を必要とする代表的疾患について対象者の状態を評価できる。 3) 最適と考えられる福祉機器の機能をデザインする。 4) 福祉機器に関連した各職種の役割について討議する。 5) 対象者とコミュニケーションがとれる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脊髄損傷の身体的特性・神経病理			1, 2	講義
2	ケアマネジメント概論			2	講義
3	生活における基本動作・ADLの理解			2	講義
4	生活における基本動作・ADLの理解（実技）			2	実技
5	起居関連用具（実技）			3	実技
6	移乗関連用具（実技）			3	実技
7	床ずれ防止関連用具（実技）			3	実技
8	入浴関連用具（実技）			3	実技
9	排泄関連用具（実技）			3	実技
10	社会参加関連用具（自助具含む）			3	講義
11	対人援助技術			4	講義
12	対人援助技術（演習）			4, 5	演習
13	対人援助技術（演習）			4, 5	演習
14	福祉用具供給のリスクマネジメント			4	講義
15	まとめ			1-5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
試験 小テスト レポート 出席 態度					